

September 2021



Writer / 富岸小学校区きずな推進委員会リーダー 瀧川正義

前回の第3期計画策定のプロジェクトチームに続き今回もお声がけいただき、身が引き締まる想いと同時に経験を活かしたいと考えています。

アンケート調査の結果をこの後どのように計画策定に反映できるか考えながら、より良い福祉の実践につながるものになりたいと思います。市民への周知により力を入れながら、きずな活動の輪を広げていきたいですね。

第2回計画策定プロジェクトチームを開催しました

7月16日、第2回目の計画策定プロジェクトチームを開催し、先日リモート収録した日本福祉大学 原田正樹先生による計画策定記念講演会を視聴しました。

講演会のテーマは、これからの地域福祉のキーワードである「地域共生社会」について。視聴後はそれぞれの委員から今後大切だと感じた視点を述べ合い、第4期の地域福祉実践計画策定に向け理解を深めました。



【委員からの声】

- ・地域のつながりの希薄化によって、家族、地域、情報などから孤立し生きる気力が低下したり、抱える問題が深刻化する危険性があるなどといった「社会的孤立」が問題となっていると知り、第4期のきずな活動の中で取り組んでいきたい。
- ・潜在的な世帯の課題をどのように拾い上げていくかを今後も考えていく必要がある。
- ・80代の親が引きこもりの50代の子どもの生活を支えているといった「8050問題」もこれからの地域の課題だと思う。
- ・地域の特色に合わせた支え合いの仕組みを検討して行く必要があると感じた。 など

この講演内容は、感染状況を踏まえながら市内で順次上映を行っていく他、町内会や各種集会での上映も可能です。また、本会YouTubeチャンネル「登別社協きずなチャンネル」や貸出のDVDで自宅でもご覧いただくことができますので（市民限定）、ご希望の際は登別社協までお問い合わせください。

計画策定アンケート調査結果集計中！

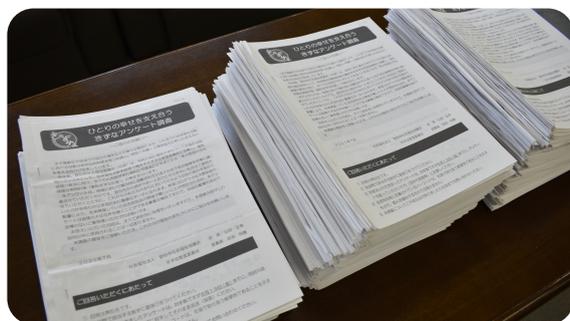
2021年7月17日～2021年8月13日の期間、日頃地域で福祉活動やボランティア活動に取り組む福祉活動実践者と、市内の福祉事業所に向けた第4期地域福祉実践計画策定のアンケート調査を実施しました。8月19日時点で、実践者589名、事業所37か所から回答があり、実践者の回答率は半数以上の55.6%となっています。

<住民主体で取り組む必要があると思うもの>

※回答の多い順

1. 高齢者のみ世帯の見守り訪問
2. 災害発生時の避難誘導
3. 自力での雪かきが困難な世帯への対応

アンケート結果の詳しい速報は、次号以降で特集します！



Kizuna &

地域福祉活動のお悩みは社協まで



社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
〒059-0016 登別市片倉町6丁目9-1
総合福祉センターしんた21内
TEL / 0143-88-0860
web / <https://kizuna-shakyo.jp/>
mail / info@kizuna-shakyo.jp